

●地震について……………▶ P4 - 10、12 - 15 参照

地震はいつでもどこで起こるかわかりません。教室の中や外、登下校中などに大地震が起こった場合、どんなきけんがあるのか、どのように行動すれば助かるのか、事前の対策で被害を少なくおさえましょう。

●津波について……………▶ P11 参照

海岸付近では津波が発生するおそれがあります。地震が起こったら、津波情報に注意しましょう。強い地震を感じたときや津波警報が出されたときは、急いで決められた避難場所や高台へ避難しましょう。また、津波は河川をさかのぼるので、河川には近づかないようにしましょう。

●風水害・土砂災害などについて……………▶ P16 - 17 参照

台風は強い風雨によって、広い範囲に洪水や土砂災害などの被害をもたらします。また、局地的豪雨は発達した積乱雲などによって、せまい範囲に短い時間で大量の雨がふる現象です。河川などがはらんしたり低い土地に水がたまって、住宅や自動車などに被害をもたらします。「ゲリラ豪雨」と言われるほど突発的に発生するため、予測がしにくい災害です。

ただし、台風や大雨による災害は、突然おそってくる地震とちがって、発生までにある程度の時間があります。ふだんからの備えはもちろん、直前の対応も被害を最小限におさえる大切なポイントです。

●火災について……………▶ P18 - 19 参照

どんなに小さな火でもひとりでなんとかしようと思わないことです。火はわたしたちが考えているよりずっときけんです。たとえ友だちがいっしょにいても、必ず大きな声や音の出るものをたたかなどして大人に知らせて助けてもらいましょう。また、火災でこわいのは火とけむりです。火災のぎせい者の多くは、けむりを吸ったり、けむりにまかれてにげ道を失ったりして命を落としています。避難するときはけむりにも注意しましょう。

●松戸市の避難所を確認してみよう！……………▶ P 20 - 24 参照

災害時に避難場所へ向かうための避難ルートについて、家族と確認しましょう。できれば休みの日に散歩をかねて家族そろって避難ルートを歩き、あぶなそうな場所（川べり、せまい道など）もチェックしておきましょう。また、橋やがけの横を通る場合には複数の避難ルートを調べておくと、いざというときに安全に避難できます。

●避難地図をかいてみよう！……………▶ P25 参照

ふだん通っている道が、災害時に使えなくなったりきけんになっている場面を想像しながら、避難地図をかいてみましょう。ふだんから、避難場所や家族が離ればなれになったときの集合時間と集合場所を、具体的に決めておきましょう。

●身のまわりで起こりそうな災害について……………▶ P26 参照

災害が起きたとき、ふだん生活している身のまわりでどんなきけんなことが起こるのか考えてみましょう。

●総合防災訓練について……………▶ P27 参照

松戸市では直下型地震を想定した訓練を、メイン会場となる中学校で行っています。中学生を含めた市民や事業所などと訓練を重ねています。

●避難所生活について……………▶ P28 参照

家がこわれたりして自宅で生活できなくなった人たちがしばらくの間生活する場所です。具体的なしせつとしては、小中学校の体育館や市民センターなどの公的しせつです。避難所生活は、いろいろな人たちが集まる集団生活になります。生活ルールやマナーを守りながら、自分たちも何ができるか考えてみましょう。

●非常持出品・備蓄品について……………▶ P29 参照

災害が起きると電気や水道などライフラインが止まってしまうため、ふだんからの備えがとても大切となってきます。何を準備すればよいのか考えてみましょう。

●ひとりで家にいるときのれんらく先……………▶ P3、裏表紙参照

家族が離ればなれになったときのれんらく方法を確認しましょう。災害用伝言ダイヤル「171」のくわしい使い方を、家族に教えてもらいましょう。また、毎月1日と15日（00:00～24:00）、正月三が日（1月1日00:00～1月3日24:00）、防災週間（8月30日9:00～9月5日17:00）、防災とボランティア週間（1月15日9:00～1月21日17:00）に体験利用できます。いざというときのために、実際に電話を使って練習しておきましょう。

■災害用伝言ダイヤル「171」の使い方

●録音方法	171にダイヤルする	録音の場合は 1	自分の家などの固定電話番号	伝言を入れる (30秒以内)
●再生方法	171にダイヤルする	再生の場合は 2	自分の家などの固定電話番号	伝言を聞く

※「自分の家などの固定電話番号」には家族とれんらくをとるための電話番号を、市外局番からダイヤルしてください。
※音声による案内が流れるので、それにしたがってそう作ってください。

■けい帯電話・スマートフォンの「災害用伝言板サービス」の使い方

公式メニューや専用アプリから「災害用伝言板」にアクセスする	「災害用伝言板」を開く	伝言を登録する場合	「登録」を選たくして伝言を入力 (全角100文字以内)
		伝言を確認する場合	「確認」を選たくして相手のけい帯電話番号を入力して伝言を見る

※くわしくは、利用しているけい帯電話・スマートフォンのけい帯電話会社に聞いてみましょう。